令和３年７月７日

伊勢湾貧酸素情報（第２報）

三重県水産研究所　鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で２mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

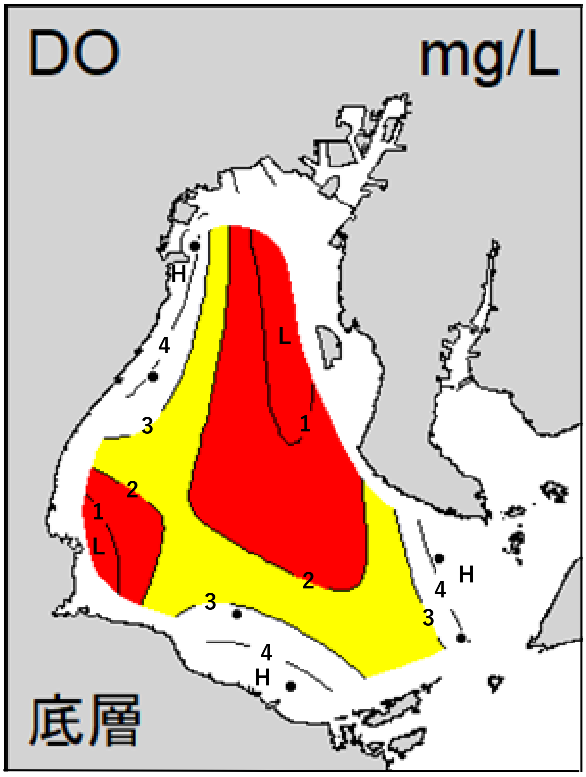
７月６日の調査結果

７月６日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 24.6～26.9℃、10m で 21.2～23.2℃、底層で 17.9～23.4℃の範囲にあり、表層及び 10m は平年よりやや高め、底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 8.1～12.1 mg/L、10m で 3.4～5.7mg/L、底層で 0.4～4.7 mg/L の範囲にあり、表層及び 10m は平年よりやや高め、底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されており、1 mg/L 以下も観測されるなど、先月の観測時よりさらに貧酸素化が進んでいました。

この時期は表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、貧酸素状態は継続するものと思われます。今後も貧酸素水塊に注意した操業を心掛けてください。



底層貧酸素水塊分布図